

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 956 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.77 G くん（令和 2 年 3 月卒・機関専攻・現 20 歳） 遠洋かつお一本つり漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ カツオを釣ること
- ・ 漁場に着くまでに、自分のハネ（竿）やチャン（擬餌針）を作ること
- ・ 機関場のワッチ

Q 大変な事は？

- ・ 漁場によっては、寝る時間が少なく朝がきついこと。忙しいときには、トイレにも行けません。
（AM2 に起床、魚越し（漁獲物の移動）、朝飯で AM3～PM5 に操業、その後、ワッチに入る場合あり）
- ・ 機関長や先輩に迷惑をかけないように仕事をできるだけ早く覚える必要があること。
- ・ 初航海では、トンボが多く釣れたため、釣り上げるのに苦労した。

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ 機関長や先輩が優しく、船全体の雰囲気が良いこと。
- ・ カツオを釣ること。

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 学園は、覚えることも多く、ルールにも厳しい学校だと思っていましたが、仕事の厳しさは学園以上です。学生と社会人の違いを実感しています。

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ 基本的なロープワーク。船に乗る以上、基本的なロープワークはできて当然です。在学中に身に付けておく必要があります。

Q 学園に入学・卒業して良かったと思うことは？

- ・ 漁師になるための基本的な事（ロープワーク、規則正しい生活、協調性等）を学べたこと。

☆ 在学生にアドバイス

- ・ 言われたことをやるのは当然です。必要なことを自分で考えて行動できる人が求められます。
- ・ ある程度の体力は必要ですが、必要以上の筋トレは不要です。

（令和 2 年 8 月 24 日）